

立命館大学間文化現象学研究センター

有村直輝著

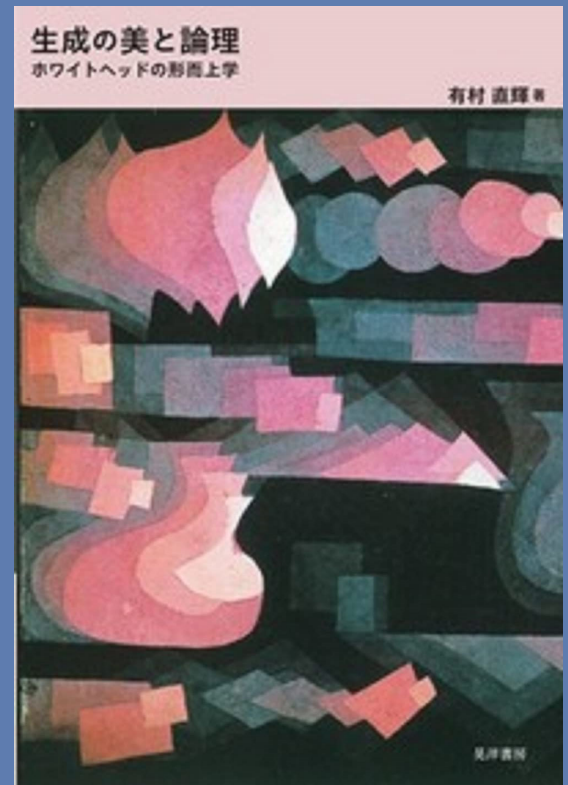
『生成の美と論理 ホワイトヘッドの形而上学』
(晃洋書房 2022年)書評会

事前予約要

■日時:2024年3月16日(土)
14:00~16:00

■場所:立命館大学衣笠キャンパス
末川記念会館101教室
オンライン(ZOOMウェビナー)

■登壇者:有村直輝氏(立命館大学)
飯盛元章氏(中央大学)
司会:加國尚志(立命館大学)



有村直輝氏の著書『生成の美と論理 ホワイトヘッドの形而上学』（晃洋書房 2022年）は、ホワイトヘッドの「過程の实在論」の構想の背景に彼特有の美についての思想と当時の論理学における問題への応答があったことを示しつつ、ハーバード大学での講義録などをもとに、ホワイトヘッドの形而上学の根本問題を「生成の美」と「生成の論理」の究明としてとらえようとするものです。

今回は同書の書評会として、著者の有村直輝氏（立命館大学）と気鋭のホワイトヘッド研究者飯盛元章氏（中央大学）をお招きして、同書を中心に現代におけるホワイトヘッド形而上学の可能性についてご議論をいただきます。

事前のお申し込みが必要です。

URLまたはQRコードからお申し込みをお願いします。

オンライン参加の方には、開催前日にメールにてZOOM URLをご案内いたします。

<https://forms.gle/FXL6EvP7JVvRQHgUA>



主催：立命館大学間文化現象学研究センター

共催：立命館大学人文科学研究所 重点プロジェクト「間文化現象学と人間性の回復」